

単独運転防止方式の概要

メーカー名	シャープ	同様の方式を採用している形名	JH40G
形名	JH40D		

項目	受動的方式	能動的方式
1. 方式名称	電圧位相跳躍検出方式	無効電力変動方式
2. 基本原理	単独運転移行時にインバータ発電出力と負荷の不均衡による電圧位相の急変を検出する。	インバータの発電電力に周期的に無効電力変動を与えることによって、単独運転移行時に現れる周期的周波数変動を検出する。
3. 回路方式 または 制御フロー	インバータ制御回路にて、系統電圧の10サイクル毎の周期を計測し、最新の10サイクルと、直前の10サイクルの時間差を比較により電圧位相の跳躍を監視する。 検出レベル以上の位相差を検出した場合、ゲートブロックによりインバータを停止させる。	インバータは約0.4秒ごとに出力力率を約1%進ませて約100ms後に元の力率に戻し、この状態で約200ms毎の周波数の変化率を検出する。 0.25%以上の周波数変動が3回継続してあった場合に単独運転と判断して、ゲートブロック及び連系リレーを開放してインバータを停止させる。 ※単独運転能動方式については、 シャープA方式(JH31A・JH52B・JH31C)と同一です。
4. 整定範囲	OFF, 1° ~9° の1° 刻み	ΔPf: 1%
	出荷時整定値 6°	出荷時整定値 ΔPf: 1%